



# 港工同窓会 ニュース

第16号

平成29年4月20日発行

発行責任者 前田武雄

## 同窓会再建三十年目を

迎えるにあたって！

港工同窓会会長

港全3期電力科 前田 武男

平成元年30年近く活動を休止していた港工同窓会の再建総会が東京大手町のサンケイホールで二百余名の参加者により開催された。その折、不肖私が二代目会長を拝命してから三十年が過ぎようとしている。

よく十年一昔と云われますが、私達は三つの昔を歩むことになる訳です。「おぎやあ！」と生まれた赤ん坊も成人・結婚、子供が居てもおかしくないような永い年月です。

さて、ここで平成元年の同窓会再建に至る経緯について少し述べたいと思います。

港工同窓会ニュース第11号(平成24年4月20日発行)に加藤先生の寄稿がありますのでその中から抜粋させていただきます。

「平成元年を期に、高輪工業卒業の高橋光春先生(故人)孤軍奮闘になっていた会務を、人員増他改善し、港工卒業生が受け継ぎ、会務の活性化をめざしたく港工業卒、港工業奉職の加藤琢二、洞毛義弘(故人)、栗田吉夫の3期卒3名が発起人となり、高橋光春先生並びに幾本嘉夫先生(故人)を顧問格に協議会を進め、平成2年3月25日(平成元年度)に再

建総会をサンケイ会館で開催しました。(注・平成2年度総会は同年11月11日に開催)以来干支のふたまわりの年数が経過しました。母校の廃校を始め多くの波風がありました。挫けそうなことも多々ありました。しかし、多くの理事や会員の支えで耐えて参りました。(以降省略)とあります。

再建にたずさわった高橋先生を始めとする多くの皆さんのご苦勞は大抵のものではなかったと想像されます。私はその苦勞に報いる為にも同窓会は存続させねばと強く感じています。

「水の流れば細くともとどまる」となれば濁らず、また人を得れば大河となることもあり得る。が、ひとたび停滞するならば流れの方向も定まらず、新しく流れの渦を作らね

ばなるまい」と、初代同窓会長久保田鉦雄氏(故人)が、母校20周年記念誌に書かれています。

同窓会は優れたスタッフのたゆまざる努力によって幾多の困難を乗り越えて存続させてまいりました。少しは初代会長の意志を継ぐことができたかな！

しかし再建当初の仲間達も次々と去り、もう私の周りには誰もいない。唯一私の片腕として全面的に支えてくれた心の友、同期の加藤先生も病に倒れ、私も85才の大台を超えました。

また、一方で苦慮しているのは同窓会の運営資金問題です。皆さんもご存知のように収入は500名前後の賛助金のみ、約100万円程度。それも年2回発行の同窓会ニュースの印刷代及びその送料や総会通知等

### ◇平成29年度 定期総会

記

日時 平成29年6月17日(土) 13時より(受付12時30分)

場所 総会 六郷工科高校2階会議室にて13時より(京浜急行「雑色」徒歩3分)

内容 平成28年度事業・決算報告、新役員承認

平成29年度事業計画・予算案の承認その他

場所 懇親会 TKPガーデンシティ品川にて15時より(JR「品川」駅前徒歩1分)

会費 5,000円(総会のみの方及び参加者付添いの方は無料です)

※懇親会参加の方は同封の郵便払込用紙の金額を懇親会費共7000円に訂正の上郵便局にて事前払込をお願いします。(郵便局ATM機なら土、日、夜間もok)  
※準備の都合上、6月10日までに同封はがきて出欠の返信をお願いします。

の郵送料などでそのほとんどが消えます。また、懇親会もホテル等に支払う宴会費は一人当たり8,000円、会費は5,000円。そして来賓者等々は無料（私としてはこのルールは変えたくない）。その結果として年間15万円から20万円を基本財産から補填している。再建当初300万円近く有った基本財産が、現在160万円程度になっている。

そこで再建30年目を機会に、総会は学校で毎年、懇親会は二年か三年ごとに開催したらどうか「提案します！」 理事会で充分審議し、結論をだすつもりです。

「水の流れば細くともどまることなければ濁らず」の心境です。

なにはともあれ再建30周年記念懇親会は、イベントとして世界的マジシャン前田知洋氏を又招き（予約済み）ご家族（お子様等を含む）を無料招待し、大いに盛り上がりましょう。皆様にも良い案が有りましたらぜひご提案下さい。

また、同窓会が今日あるのはひとえに皆さま方の熱いご支援の賜物と心から感謝しております。

私は港工校が自分の人生の原点であったような気がします。

俺母校が好きなんだよな！

老骨にムチ打ってがんばります。今後とも御指導・ご支援・ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

### 六郷工科高校の体育施設

東京都立六郷工科高等学校 オートモビル工学科教諭

杉野 栄一（港工同窓会理事 港(全28期A卒)

本校の部活動についてですが、運動部が15、文化部が11の部活動があります。本校にとって部活動や委員会に所属している生徒が、新入生歓迎会や体育祭・文化祭などの学校行事でリーダー的な役割を果たしたり、校内美化・清掃活動を計画するなど、学校全体の活性化につながる面が見られています。

また、地域貢献として、パトロールマラソンと称して、毎週金曜日生徒会・部活動の生徒を中心に地域(国道16号線の六郷橋〜京急蒲田駅付近)をマラソンしながら巡回する活動を行い、蒲田警察署より表彰されています。

本校の体育施設についてご説明します。体育施設は校庭・体育館・プール・格技棟があります。まず、校庭はオールウエザーでテニスコート3面の大きさで、母校より2面多い広さです。毎年6月に、校庭で体育祭を行っています。部活動では硬式野球部・ラグビー部・サッカー部・硬式テニス部・ハンドボール部が活動しています。体育館は母校と同じような大きさと思います。体育館で

はバレーボール部・バスケットボール部・バドミントン部・スピードボール部が活動をしています。本校の授業の終了時刻が15時30分で最終下校時間が16時45分とほとんど活動時間が無いいため、土曜・日曜日にも2交代（午前・午後）もしくは3交代制で活動をしています。



母校との大きな違いは格技棟があり、柔道場、剣道場そしてトレーニングルームがあることです。柔道場と剣道場は公式試合ができる大きさかと思いません。トレーニングルームは教室3つ分の大きさがありバーベルや古いものですが、筋力アップのためのマシンが数多くあります。このトレーニングルームは、ウエイトリフティング部がメインで使っています。雨天時は、グラウンドで練習する部がストレッチや筋力アップのトレーニングを行っています。校舎棟と体育館棟に挟まれた狭い場所では、校庭や体育館が使えない時に各部の生徒が工夫して練習をしています。



第13回六郷祭

港全12期E2 中西悦夫

第13回六郷祭が平成28年10月29日、30日開催された。

1階オートモデル工学科から歩いてみる。私は、港工在学中は電気科だったが、クラブ活動は3年間自動車部に所属していた。授業終了後、作業着に着替えて自動車工場で、明石先生の教えを請うて、クラスメートのN君と作業した。エンジンを分解したり、点火位置を調整するとき、2万ボルトの高圧に触れて怪我をしそうになった事もあった。だから六郷祭でもオートモデル展示室は特別な思いがある。自分があちこち分解したり、組み立てたりして、散々いじくり廻したA型フォードが、まだ有るのが嬉しい。
ただ、毎回思うことだが、今自動車技術は大きく進歩し、HV・EV・燃料電池車、その先に無人自動車がある。だが、六郷祭にはこれらに関する資料展など殆ど無い。自動車部員も、努力して素人にも分かる説明書など展示してもらえば嬉しい。
今回、各展示室を一通り見て回ったが、特に注目するような展示物は無かったように思う。以前人気だった「ドミノ倒し」の企画(設置に大変な手間と時間がかかる)も見られ

なかった、3階で「人カメリーゴランド」を見た。部屋いっぱい「メリーゴランドもどき」を組み立てて、そこに子供達を乗せて生徒が人力で回す仕組みだ。できれば、もつと小型で良いから、自転車発電で小型モーターを使って回すとか、何か一工夫有りそうだな。

我が同窓会は新しい発想もなく例年通り名簿、パネル展示で終わった。数年前までは、「次回はあれをやろう、これをしよう」と何か考えたのだが、段々元気がなくなってきた。それでも同窓会展示室は、総会に次ぐ同窓生の交流の場として、貴重な存在と考える。



◎平成29年度・秋の六郷祭は

10月28日(土)午後1時～4時

10月29日(日)午前9時～3時30分

に開催されます。

○校内自動車工場には懐かしのA型フォードが保存されています。

設備の多くに港工高の昔の機器が活用されている校内を見学できます。

○港工同窓会の部屋を用意します。見学後の休憩・歓談にお立ち寄り下さい。

住所変更や会員消息のお届け、お問合せ、また賛助金の納入も受け付けます。

※展示資料

- ・各期毎の卒業アルバム
- ・港工1期～56期卒業生名簿
- ・高輪工業、麻布工業卒業生名簿
- ・港工創立20周年記念誌
- ・同 50周年記念誌
- ・港工閉校記念誌
- ・「港工高新聞」縮刷版他
- ・港工高関連のビデオ映写

◇平成29年度定期総会

恩師出席予定

- 本波 哲朗 (教頭) 全
- 石田 昭宣 (事務長) 全
- 明石 朗 (自動車) 全
- 山田 信幸 (電気) 全
- 松尾 誠三郎 (事務) 定
- 小笠原 将幸 (体育) 全
- 広橋 恭二郎 (電気) 定
- 西原 要四郎 (教務) 定
- 両角 亮一 (数学) 全
- 甲斐 徳隆 (英語) 全
- 馬場 幸雄 (英語) 全
- 杉野 栄一 (自動車) 全
- 吉川 英雄 (国語) 全
- 山本 誠 (電子) 全

平成29年4月20日現在

※懇親会の会場を交通便利な品川駅前に変更しました。参加者には、案内書を送ります。

恩 師 訃 報

国分 輝雄 (自動車) 全

(敬称略)

ご冥福をお祈り申し上げます。

返信はがきからの近況・想い出(特別会員29年度)

旧(第10代校長) 村上 五雄

毎回ご案内をいただき、まことに有難うございます。毎年体力が低下して、歩行に困難を覚えるのが増大しております。港工同窓会の維持発展にはいりるご苦労がお有りのことと存じますが、役員、会員の方々のご協力、ご努力に心から感謝申し上げます。

旧(第12代校長) 関 透

平成27年10月に患いました。脳卒中の影響で右手足の麻痺、言語障害、高次脳機能障害が残りました。以前の様な交流を持つことはできません。今後も出席は難しいかと思えます。父に代わり長女が代筆させていただきますました。よろしくお願いいたします。

旧(第14代校長) 和泉 勲

申訳ございません。当日、予定があり出席できません。同窓会の発展を祈っております。

旧(事務局長 全 坂上 守正  
当年101才、元気です。

旧(事務局長 全 馬場 公男  
ご案内ありがとうございます。

旧(教頭)全 本波 哲郎

御案内をいただき有難うございます。想い出の一つは着任当初の2月半ばの日でした。前日までと打って変わって極端に寒い日があり、「寒い寒い」と言ってガス暖房を入れました。後日、校長先生から、事務へ無断で職員室の暖房を入れたことはよくない。必ず相談をしてから実施するようにと注意を受けました。教頭1年目の失敗談です。今日のような季節外れの寒い日には想い出します。平成29・3・31

旧(事務局長)全 石田 昭宣

- 在職当時のこと
① 富津寮のこと
② 校地買収に従事した事
③ 校舎改築のこと

等様々な事が思い出されます。今、校舎がなくなり、校名までなくなった。発展的な校名変更とは申しても寂しい限りです。私も米寿を迎えました。

旧(教頭)定 石井 良治

いつもご連絡恐縮です。ご盛会をお祈りいたします。

旧(教頭)全 江部 明夫  
ご盛会を祈ります。

旧(教頭)定 三谷 和夫

今回残念ですが出席できません。ご盛会を祈ります。愛右山近く、愛右祭(定の文化祭)を忘れません。定時制側で先生が一人でも出られるとよいと思うのですが、今回は力及ばず残念です。最近1回でも出られた方に声がかければと思います。

旧(教頭)全 野上 明夫

定年退職後9年が経ち、都立学校の情報にすっかり疎くなった昨今、港工同窓会の案内で、現役時代に居ることが出来ます。懐かしい当時の皆様の顔が思い起こされちよつと感傷的な気分を味わうことができます。ありがとうございます。懐かしい当時の皆様の顔が思い起こされちよつと感傷的な気分を味わうことができます。ありがとうございます。

旧(教頭)全 桑原 洋

当日は授業があるので失礼いたしました。皆様によりしくお伝え下さい。

旧(教頭)全 相川 英昭

欠席で申し訳ありません。想い出は口外できないことが多いのですが、例えば野球部の練習中にネットのすきまからボールが道路に転がり出て、高級車にちよつと触れたことがありました。これで運転手が私の所に来られて、1カ月近く苦労したこともありました。

旧(自動車)全 明石 朗

皆様のご健勝を祈念申しあげます。

旧(電気)全 高橋 光春

父の光春は、平成27年3月に永眠し、先月、家族のみで三回忌を終えました。家族には寡黙な父でしたので、港工での姿を偲ぶことはできませんが、皆様には生前のご厚情に感謝申し上げます。どうぞ盛会でありますようお祈り申し上げます。

——御息女様より

旧(電気)全 山田 信幸

港工の灯を掲げ、同窓会を継続されている前田会長や皆様方のご努力に敬意を表します。元気である限り(当然ですが)出席したいと思えます。賑やかなガーデンシテイの会場も楽しみます。

旧(電気)全 加藤 琢二

残念ながら欠席です。

旧(自動車)全 中井 泰也

体調はあまり良くありません。数年欠席を続けておりますがどうぞご理解ください。よろしく申し上げます。

旧(自動車)全 豊山 州生

老々介護の毎日家で空けることができませぬ。皆様によりしくお伝えください。

旧(電気)全 小又 良一

今は一人暮らしで、歩行速度が遅いという生活ですが、何とか起きております。昔から興味のある能管作りを生き甲斐としておりますが、全然売れないありさまで。でも生きる力の支えになるので満足しております。昔の友人からお電話をいただいたり、実にうれしく思っております。先日は小笠原先生からお電話をいただき元気をいただきました。その他卒業生からの手紙もいただき、実にありがたい人生であると感謝しております。

旧(事務)定 村井 源治

小生は港工において、定時制機械科卒、機械実習助手、理科室助手、全日制事務職そして定時制事務職に就きましたが、教員にはなりませんので、いわゆる先生ではありません。お知らせしておきます。以上

——会員名簿に該当なしのため、昭和44年発行のガリ版刷り名簿を確認した結果、旧職員の村井源治様と、定時制機械科卒の松井源治様が同じ住所で記載されており、名称誤記入と思えます。現会員名簿を訂正の上、住所判明者として正会員登録しますので、ご了承方お願い申し上げます。

事務局より

旧(体育)全 小笠原 将幸

昨年は、6月25日にお招きいただきまして皆様から暖かいおもてなしがありがとうございました。早くもあれから1年が過ぎ、光陰の早さを感じております。今のところ健康状態なら参加させていただけそうです。楽しみにしております。昨年の皆様や久しぶりに今年お目にかかれる方との再会が待ち遠しく感じております。

旧(電子)全定 大谷 忠雄

私はもうすぐ83才になりますが、1人で自活しています。残り少なくなつた人生を楽しく過ごそうと模索しながらも「幸せ」な日々を送っています。

旧(体育)全 吉野 尚也

毎年、担任の自動車科22期生がクラス会を開き、呼んでくれるのでとても楽しみです。今年の10月には、なんと我が家でクラス会をとの事、嬉しい事です。昨年は喜寿を祝つてくれました。

旧(電子)定 伊藤 雅章

港工の跡地がどうなっているか、六郷工科高校とはどんなところか、一度見に行きたいと思つていますが、実現できるかどうか、わからない。

旧(機械)定 三浦 時生

毎回連絡をいただき、ありがとうございます。元気にやっています。

旧(数学)全 両角 亮一

出来るだけ散歩に努めています。母校校舎が無くなり淋しいかぎりです。当時の姿を思い出すにつけ色々な音が耳に残っています。皆さんにはどんな音が残っていますか、語りましょう。

旧(事務)全 澤田 實

都職員新規採用が港工業高校でした。その後、学校は高校↓小学校↓中学と勤務し再任用5年間満了し、その後4年間臨時職員として勤務して、今年3月で終了しました。いつも懐かしく、良い思い出として港工業高校が心に残っています。

旧(社会)定 藤崎 ミヤ子

ご連絡ありがとうございます。幹事様に感謝しています。住所は登録はもとのままですが、実態は娘の家におります。娘の双子の面倒をみるというこの歳になつては少々過剰な事柄なのですが、孫の笑顔にいやされ毎日を充実して送っております。生まれ育つた街で過ごすことができ、孫といい、神様からの思いがけない贈り物に喜んでおります。皆様のご発展を祈っています。

旧(電子)全 菅原 彪

体調が悪く欠席させて頂きます。ご盛会をお祈り申し上げます。

旧(英語)定 福井 祥

過日、港工定の元同僚と、神保町から新橋まで懐かしの道を歩きました。解体され、建築中(病院)の姿を見て、寂しさが募りました。67年新採入18年勤めました。時に最初と次の学年の生徒らの訃報に接し、悲しみと時の流れを感じます。足腰が弱まり、昨年は、ついに海外一人旅を断念しましたが、それなりに元気にやっています。ご盛会を祈ります。

旧(電気)全定 砂川 海廣

港工は、生徒としてまた教員としても想い出深いものがあります。大病の後、もう何も出来ないと思いましたが、今は、アンサンブルでフルートを吹いています。

旧(電子)全 北島 敬巳

いつも欠席でごめんなさい。なかなか東京まで行けません

旧(英語)全 甲斐 徳隆

縁あって、伯父(田実虎文)が働いていた港工で都立の教員としてスタートできたことに、この上なく感謝しております。古希を記念して平成30年3月22日から約3カ月かけて1番札所から88番札所まで自分の足でお遍路の旅に出ます。今、脚を鍛えているところです。

旧(機械)定 福富 千明  
港を皮切りに、王子、鮫洲、六郷そして本所で退職。今、私学工高の講師を、もう一年また一年の67才の春を迎え、新橋駅は通勤経路でもあります。往時が偲べれます。

旧(英語)全 馬場 幸雄  
再任用も終わり、やつと同窓会にも出席できるようにになりました。港を出て36年たつてしまいました。

旧(教助)全 樋口 重子  
年齢がもう90才を、とつくに過ぎて「ボケ」もすんできて困っております。それなのに後20年は生きたいとのんきな事を言っております。

「ひまご」が2人いて、アーちゃんとい私(電子)全 長岡 美穂  
校舎が解体されたとのこと残念に思います。退職して15年を過ぎましたが元気にしています。

旧(体育)全 小川 幸吉  
今夏の甲子園は99回大会です。100回大会まで頑張りたいと思います。6/17は夏季大会の抽選会にあたり、欠席させて頂きます。

旧(英語)全 佐藤 芳教  
この3月で日比谷高校を退職しました。完全にフリーになりました。今後は少しでも世の中のお役に立つことをしたいと思えます。

旧(国語)全 吉川 英雄  
今年3月に定年退職いたしました。港工高をスタートとして37年間の現役生活にピリオドを打ち、ホッとした気持ちと少しのさみしさを感じています。4月より再任用で都立南葛飾高校で教育に携っています。今年には総会には参加できませんが、懇親会には参加させていただきます。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

旧(数学)全 栗原 幸一  
昨年度は、途中で失礼させていただきました。(体調の関係で)ありがとうございました。

旧(司書)全 杉原 友子  
桜の花が咲きはじまりました。退職して19年目になります。その間カルチャーセンターにて源氏物語を受講し、18年かかって54帖終了しました。今年とは同じ講座を再度受講して居ります。学問には年齢制限がありませんので頑張つて居ります。圧迫骨折の為、残念ながら東京まで出かけられませぬ。

旧(事務) 湯田 省三  
港工業には昭和61年3月までの1年間勤めました。自動車科の産振でのシヤシーアナライザの導入、製図室天井のアスベスト問題、屋上での野球部のノックボールの飛出しでの問題。更に都の規則では20年間保存の卒業台帳の整備と永久保存の実施と、1年間でしたが山盛りの出来事で懐かしく思い出されます。

旧(数学)全 田神 仁  
生憎当日は仕事が入っており、残念ですが参加できません。皆様によりよくお伝え下さい。私事ですが、定年退職後2年目を迎え、4月から、武蔵野大学と法政大学で教員採用選考対策指導を、洗足学園音楽大学で教職の授業を1コマ担当することになりました。

旧(国語)全 矢部 玲子  
誠に残念ながら、欠席いたします。皆様どうぞ宜しくお伝え下さい。北海道文教大学の教員となり、早いもので6年目を迎えました。もと国語教師が現在は、国語教師を育てる仕事をしております。また、現在、大学に課せられたリメディアル教育、出口教育、初年次教育の各教科も担当しています。ご子弟のご入学、お待ちしております。

旧(電気)全 諸富 宏行  
病気療養ため欠席させて頂きます。

旧(電子)全 山本 誠  
お世話になっております。先日、港工の近くを通り、学校が解体される様子を見て来ました。思い出がいっぱいの港工です。

旧(嘱託技能) 竹内 賢之助  
体調不良で病院通いの日々です。欠席致しますので悪しからず。皆様によりよくお伝え下さい。

旧(国語)定 持田 ひろ子  
港工業での日々も遠くなりました。毎年この時期になると愛宕山の桜を思い出します。思いで多い学校も今はなくなり、周辺もかわりましたね。後を受け継いで下さっている六郷工科高校の発展をお祈りいたします。

旧(社会)全 藤井 恵子  
校舎も無くなつてしまつたと伺い寂しい限りです。一度跡を訪ねてみたいと思います。10年以上お世話になりましたので、本当に様々な思い出が湧きあがってくるのではと思えます。

旧(国語)全 林 輝彦  
体調不良ため残念乍ら欠席致します。旧(事務) 国分 賢司  
皆様のご健康、ご多幸、ご活躍そして六郷工科高校の発展をお祈りします。

旧(数学)定 清水 隆夫  
いつもご連絡ありがとうございます  
当日は、旅行の予定がありますので、  
欠席させていただきます。

旧(英語)全 十亀 有紀  
校舎はなくなりましたでしたが、港  
工はずっと心に残っています。

旧(保健)定 小宮 徳健  
現在、日野高校に勤務しています。部  
活の盛んな学校で、毎日元気な生徒た  
ちの声に、元気をもらっています。

旧(自動車)全 大塚 健一

3月上旬に愛宕山から新橋駅まで歩  
いた時に、母校校舎が無くなりました  
した。閉校から13年になります時  
代にあった教育は六郷工科へとひき  
つがれましたが、古い石材の校舎を残  
しながら港工業(母校)の存続のため、  
地域に密着して愛される学校として  
残れる可能性もあったのではない  
か?と考えるながら歩いていました。

旧(電気)全 豊島 壮治  
体調悪く、欠席します。ー代筆

(敬称及び挨拶文の  
一部を省略しました)

### 第6回 港工同窓会旅行記

港全16期A 松岡 信之

平成28年10月16日(日)から恒例  
の日・月一泊旅行を実施、場所は伊  
豆伊東温泉の伊東園ホテル松川館に  
泊まった。

熱海から伊東線に乗り換え、30分  
ほど展望車で海岸沿いの景色を眺め  
ているうちに伊東へ到着。日曜夕刻  
の静かな街を歩いて約10分でホテル  
へ、入館前にコンビニで夜食用のピ  
ール・酒・つまみを購入してからチ  
ェックインした。

今回の参加者は前田会長(3E)は  
じめ海野(8M)・西原(13E)・相  
川(18△)・新谷(15E)の各理事及  
び常連の佐々木さん(6C)、初参加  
の佐藤さん(8M)、九州長崎からア  
ルプス登山を兼ねて、リュックを背  
負った登山姿で現れた同期の遠藤さ  
ん(16E)に私の9名と賑やかなメン  
バーが揃いました。

伊東園グループの夕食はラウンジ  
でのバイキング&フールドリンクで、  
いつも美味しいのですが、今回は特に  
カニ・小鰯等の魚介類が新鮮で、昔話  
で歓談しながら、つい食べ過ぎてしま  
いました。

食後はカラオケ組と温泉・2次会組  
に分かれた。カラオケは個室が取れず、

大部屋で共用でしたが、30分ほど  
他のグループは帰ってしまい、大部屋  
が貸し切り状態となり、大満足だった。  
翌朝はバイキング朝食を堪能した  
後、名残は尽きねど現地解散した。

毎回のことだが、メンバーのほとん  
どが母校での接点は無く、同窓会に参  
加しからの交流です。昔の面識は無  
くても、校舎のこと、先生、野球部、  
水泳部、他部活、文化祭、体育祭、愛  
宕山、通学路等々昨日の事のように話  
が弾みます。

お便り等で、級友や知り合いがいな  
いから不参加との話を伺いますが、現  
状はクラス会等を開催される方が多  
数で、旧友と連絡が取れない方が多数  
です。

青春時代を港工で過ごした想い出  
を大事にしたい気持ちには全員の共有  
事項です。定期総会・懇親会、秋の六  
郷祭、同窓会旅行にお気軽にご参加下  
さい。往年のひと時が甦りますよ!

私は当時、御成門裏に住んでおり、  
通学徒歩5分でした。私の港工3年間  
は毎日放課後に近所のバイトをして  
いたので、実は余り母校の思い出はな  
かったのです。しかし級友には恵まれ  
大変世話になりました。平成8年に級  
友から会計理事を引き継ぎ、前田会長  
と会長同級の加藤琢二先生から学校  
の色々な話を聞いて、改めて母校の実  
態を認識しました。そして、私と違い  
母校に深く携わって、大きな想いを多

数の方が大切に行っていることを知り、  
会員名簿のメンテと共に、皆様の想い  
を同窓会ニュースで紹介し、同窓会活  
動に力を注いでいるところです。  
母校閉校後13年を過ぎ、何時まで  
続くのかと思いますが、会員皆様のお  
気持が賛助金納入に反映されるう  
ちは、体力の続く限り「青春の想い出」  
保存に努力します。

### ◎ 第7回 港工同窓会旅行

今秋平成29年度の同窓会旅行は  
鬼怒川温泉です。東京から東武特急  
で2時間、平成の大修理を終えた、  
日光東照宮・陽明門が近いです。

**平成29年・同窓会旅行**

場所：東武・鬼怒川温泉駅  
「鬼怒川ロイヤルホテル」  
日時：10月15日(日)～16日(月)  
費用：¥10,000。(交通費別)  
詳細資料請求の方は下記へ  
(参加の有無に関係なくお送りします)  
連絡先：旅行幹事・中西悦夫(12E2)  
**042-561-8242** (夕方以降不在多)  
又は、事務局・松岡 まで

「20周年記念誌より」

## 在学のころ

元港工同窓会顧問  
高輪工一本一期E卒・元本校教諭 幾本嘉男

私は昭和四十三年四月、東京市立高輪工業学校第一本科電気科に入學した。第一回生のため、われわれ新入生約百三十名がその当時の全校の生徒数である。木造二階建てのコの字形の校舎と機械工場に囲まれた小さな校庭（港工高の校庭の四分の三くらいであったと思う）があった。その一隅にあった藤棚も懐かしいものだ。

校庭で軍事教練や体操をする。野球ももちろん校庭で楽しむ程度で、時には空地をさがして練習に行くこともあった。顧問の先生が五十銭で製菓工場からビスケットを買ってきて皆で喰べあったこともある。クラス間の交流も活発で、卓球・排球・野球と先生も一緒に楽しみ校内大会など盛んに行なわれた。

軍事教練では時々多摩川まで、ある時は横浜まで行軍した。途中練習を兼ねたものである。今の中原街道が建設中で第二京浜国道などは全くなかったころである。遠足のつもりで弁当袋を背に木銃や鉄砲を肩にし

ての行軍で、炎天のときあり、寒中のことあり、苦しいことつらいこともあったが楽しみな行事でもあった。昭和十二年七月七日に始まった支那事変は次第に拡大してわが校からも応召されて行かれる先生が多くなってきた。戦争がわれわれの身辺にも近づいてきた。

旅行は箱根登山電車で強羅まで行き、徒歩で大涌谷を通り元箱根に泊した。今のような賑わいはなく大へん静かなところであった。翌日は十国峠（舗装されていない）を通り熱海まで行軍した。

二年になり初めて下級生ができたので大いに張り切り、わが校の伝統作りのための覚悟をきめて行動するように誓い合った。この時の旅行は大島であった。元町に一泊、翌日ハシケ二乗船して沖で本船に乗り移って見ると船の周囲を三メートルくらいの鯨が泳いでいたのを今でも忘れない。

三年では銚子、水郷一泊、夏には下田柿崎に臨海学校が開かれた。第

二本科の人びとも数人が参加されてわれわれのためによくお世話してくださった。海では飛込や遠泳あるいは水中教練をした。

四年では、長野善行寺方面。このときわれわれ十二、三名がいた。それから他のクラスの食事を五、六人分失敬してしまったことが帰りに露見して、駅前で担任の先生から大目玉を喰らった。帰京してから罪ほろぼしのため「何かしよう」と相談の結果、高輪神社の境内を朝と晩清掃することに決めて実行した（卒業まで続けたと記憶している）。神主さんが学校へ感謝に来られたので、校長先生から全校生徒の前で発表されたときは何とも面はゆい気持であった。

この年の十二月八日早朝、臨時ニュースにより米国及び英国と交戦状態に入ったことを知る。登校すると皆昂奮してどよめいていた。校長先生の講話があり、その後で天皇の詔勅をラジオで聞く。いよいよ戦争は本物となり、勤勞奉仕も多くなり、授業は少なくなった。

五年生、同級生で航空機の乗員養成所に入所する者などあり、戦時色が次第に濃くなってきた。四月十五日午後の授業中、突然サイレンが鳴り、全員校庭に集合したとき、機械工場の方向五、六百メートルの上空を見なれない飛行機が西の方へ飛び

去った。これが日本本土が最初に空襲をうけたときの飛行機であった。

大井、大森方面を爆撃して日本海から中国に飛び去ったのである。数日後爆撃跡の調査のため出勤させられた。ますます戦争に対する覚悟を固めていった。夏には千葉県長生郡一ツ松の九十九里浜で柔剣道部の合宿をした。砂浜での練習は非常につらかった。その他の行事では毎年柔剣道の寒げいこ、暑中げいこがあり全校生参加、また毎月一日の興亜奉公日（後には八日の大詔奉戴日に変更）には教練服に革靴、ゲートル巻きで四列縦隊になって学校―泉岳寺―伊皿子坂―高松宮邸―森村学園―品川駅―学校と約二キロメートルくらいを駆足で回った。戦時下のことで全員歯を喰いしばって頑張り通した。当時の生徒は機械科、電気科の別はあっても大へん仲がよく下級生とも親しかったことが今でも一番心に残っている。また第二本科（定時制）の人たちがよく第一本科（全日制）の指導援助をされたことなど今でも感謝しています。

――幾本先生は港工同窓会再建に際し顧問を引受けていただき、大変お世話になりました。

寄稿文

## 愉快な水泳部

港定13期E 西原 要四郎

昭和三十二年四月に港工業高等学校  
校定時制電気科に入学しました。

一クラス五十五名で及川先生が担任でした。校門を入るときの挨拶は「おはよう」から「コンニチワ」に変わって教室に入ります。クラスの話題は勤めている会社での内容やその日の出来事が多かったです。お勤めの人々が家路につこうとする時間に僕は学び舎に入る。入学してビツクリした事は、真つ黒な板張り廊下に不思議を感じていました。私はクラブ活動をしたくて幾つかのクラブを訪ねた結果、水泳部に入りました。翌日プールサイドに立って中を覗くと緑色の苔がビッシリ、更に溺れ死んだ昆虫を始め紙くず、缶、棒きれ等々が沈んでいました。四時限の授業が終わってプールサイドに集まった部員の紹介があり活動の日程が発表されました。

部長は背が高く優しき素敵な松本さんでした。プール開きは五月三日で、それまでは陸トレです。新学期初日の練習スタートです。コースは校門を出て左へ走り芝郵便

局を左に曲がり日比谷公園、皇居外堀を左に見ながら和田蔵門を左に曲がって佐久間町交差点から愛宕山下通りへ入り、愛宕トンネルを左に曲がって校舎に戻ります。

時には愛宕山がトレーニング場になることもありましたが、当時の愛宕階段は九十六段ありましたが怪我をした人はいませんでした。課題は女階段を廻り、男階段を上がる。これを一〇周することが一番苦しいことでした。トレーニングは週一で行われました。

五月三日はプール開きです。昨年の一〇月からこの日まで防火用水としての役割を担ってくれたことに感謝の気持ちを以って、ブルブル震えながらソロリそろりと足を水中に・・・オイッ早くバブルを開ける！と叫ばれる。大きなゴミはあらかた取り除いて放水しながら壁面や底にへばりついた苔をブラシで擦り落としていきます。このころの水温は一四〜五度で一三度の年もありました。これくらいの水温になりますと冷たいと感じるのではなく痛いと感じます。五・六月の寒い日には全日制の玉井先生が空の石油缶（上部を切り抜いたもの）に炭火をいれてプールサイドにお持ちいただき「オイッ寒いだろうッ身体をあたためながらやれよッ」と気遣って下さ

れた事に部員一同が「ありがとございませう」

掃除も完了し綺麗な水を入れ始めます。掃除用具置場の掃除を終え、注水量が八割位入ったところに消毒液を散布してプール清掃は終了です。

プール開きは祭日であり早めに登校して全日制の皆さんとも顔合わせできることもありましたが、定時制の当日は全日制の玉井先生がお見えになり、ご指導いただきました事が胸に沁みついていきます。

五月と云えどもかなり寒い日がありますが震えながらプールから上がってくる者に向かって「オイッ寒いだろうッ少しアツタまれ！」と云って、綺麗になったプールサイドで、私達を気遣って抱えていらした残り火の入った一斗缶を差し出して下さった事が、つい先頃の出来事のように思い出されます。何時何時までも消える事のない感謝の気持ちを大切にしています。

夏休みには八潮高校（当時は女子高、靖国神社の近くで室内プールのある九段高校などに親善を兼ねた練習試合をしに出かけました。

八月下旬定体連の競技会が終わった後、九月半を以ってプールの練習は終了です。プールをきれいに掃除し、倉庫もきれいに片づけて、水をたっぷり入れて水中トレの終了とな

ります。

十月から秋の陸トレです。

コースは春のコースと基本的には同じです。四時限を終えて夜の九時ごろから都心を走っていると様々な情景を見ながら、感じながらの走る速度は速くなったり遅くなったり、笑ったり、嫉妬したりとなかなか愉快なトレーニングでした。

四年生になって中田部長のもとで練習を積み重ね、八月下旬に中央大学の阿佐ヶ谷プールで、定体連の競技会に参加（二百M背泳）しましたが、ゴール二〇M程手前で余所見をしてしまい、四位となり、悔しい思いをしました。しかしながら鍛守先生から頂いた一言に勇気づけられて幸せでした。

四年間の水泳部員としての活動は「昨日の出来事のように」に想い、大切にしています。

先輩から生徒会長を推められましたがそれを断り、最後の一年間を体育部長として努めさせていただきましたことに感謝しています。

「元気の基は泳ぐこと」です。

「20周年記念誌より」

平成8年11月発行

港の水に馴染んで

元本校教頭 石堀 善武

都立港工業高等学校が統合二十周年を迎え、ますます発展の一路を邁進されていることは誠に慶賀の至りであります。

このたび記念誌を発行されるに際し、寄稿の機会を得まして光栄に存じます。

鈴木教頭、ご勇退の後、昭和三十六年六月着任いたしました、三十七年十一月まで本田校長の下で職を報じました。港工業高校の長い歴史の中のほんの一コマに過ぎず、その上何らお役に立ちませんでした。私にとりましては最も貴重な経験をいたしました懐かしい思い出の一年半でした。ここに思い出の一端を述べましてお祝いの言葉にかえさせていただきます。

着任早々校長から沢木先生に紹介され、先生から学校の様子などを詳しく説明していただきましたが、そのおかげで短い間に自然に港の水に馴染むことができました。最初に感じたことは学校の良い雰囲気でした。長い歴史から生まれた落ち着いた空気の中

に新しい息吹きが感ぜられました。先生方も堪能な方ばかりでいろいろ教えられる点が多かったと思います。PTA、後援会の方々が非常に熱心で学校に深い理解を持っておられました。校地の狭いことは都立工業高校中随一でしょう。わずか千四百坪ほどの校地に鉄筋コンクリート三階建ての校舎、講堂、実習工場があり、校庭は猫の顔ほどで運動もじゅうぶんできません。港工業高校は潜水艦であるという話をたびたび聞きました。まさに名言であります。それは形の上ばかりでなく、内容からいってもびつたりの形容です。学校の環境は、かりにもよいとはいえません。校舎の一階の部屋などは地下室に閉じ込められたような感じで、道路一つ隔てた機関紙印刷工場から出る輪転機の騒音や周囲の騒音は、はなはだしく授業のじやまになりました。私は機械科と自動車科一年の機械工作を担当しましたが、生徒諸君は極めてまじめで今までに受け持った授業の中ではもっとも教えがいのあるものでした。潜水艦の乗組員も年に何度かは港に上陸してお祭りを催すといったのが体育祭や学校祭でしょう。

体育祭は芝公園グラウンドで行いますが、期日が抽選で決定されるので学校の行事計画通りにならないのが悩みの種でした。生徒諸君はこの日は

かりは水を得た魚のように深淵としてみえました。体育祭が終了すると学校祭の準備にとりかかりますが、古い校舎もこの日は満艦飾で、クラブ活動の日ごろの成果が発表されます。参観者の多いことも驚くほどで朝から夕刻まで引きも切らず、これも地の利や伝統の為ばかりでなく、内容が高く評価されているためでしょう。運動部のクラブ活動は練習場が無いため夏休みの合宿訓練に主力が注がれます。昭和三十七年の夏休み合宿激励のため野球部とバスケット部の合宿を訪れました。野球部は文福茶釜で有名な館林の茂林寺の本堂に合宿し、近くの市営グラウンドで練習が行われておりました。観光客も多数訪れる茂林寺の和尚さんが、一高校野球部の合宿に本堂を解放してくれる好意に感激しましたが、これは野球部顧問の先生方や先輩の熱意が和尚さんを動かしたものと深く感銘しました。火の出るような練習を見て茂林寺の本堂で一夜を共にしましたが、先輩を加えた師弟一帯の合宿生活に真の教育の姿を見たような気がしました。翌日は栃木県烏山のバスケット部の合宿を訪れました。酷暑の中の烏山中学校体育館における練習は一年の空白を取り返そうと熱気に溢れておりました。昭和三十七年五月待望の富津学園の上棟式、続いて六月落成式が現地で大に行わ

れました。東京から近く、付近には富津公園もある景勝地で、砂浜は富津岬の先端まで延々と続く好適な海水浴場であります。七月から八月にかけて水泳、後は各運動部の合宿その他、職員父兄卒業生も利用できるので、学校が広くなったような喜びでした。

思い出は次から次へと尽きません。わずかの在職期間ではありましたが、諸先生方に大へんお世話になりました。大過なく過ごすことができましたことを感謝しております。ここに港工業高校の二十周年を祝し、学校の弥栄えと諸先生方のご健勝を祈って止みません、



※港工高50周年記念誌(平成8年)

※港工高閉校記念誌・DVD付

(平成16年)

在庫があります。ご希望の方は事務局まで一報ください。

※港工高20周年記念誌については、在庫が僅かのため配布不可です。内容等、質問あれば一報下さい。部分コピーの上送ります。

(秋の六郷祭には展示します)

「50周年記念誌より」

平成8年11月発行

## 狭いながらも愛宕の母校

港全24期C 武江 弘治

50周年おめでとうございます。思いも書けない原稿の依頼でしたが、私の3年間で印象に残っている事がらを思い出してみます。

私たちが在校していた頃は学生運動が下火になってきた時期でしたが、生徒会の要求で私服での登校も認められるようになりました。それからオイル・ショック！これは就職にも大変な影響を与え、前年までの実績はあてにならない状況で、卒業時点でも進路の決まらない人もいたと記憶しています。

その他に印象に残っているのが運動会です。芝グラウンドで学科対抗で行われ、各クラスとも大きなマスコット・キャラクターの看板を作って競いました。我が電子科は競技よりもつばら仮装行列の様に出し物？で点を稼いでいたみたいでした。そういえば、「愛宕神社の神主が・・・」という応援歌もありましたね。

私は卒業後、NHKに入局し、幾度か移動がありました。が、地方局も含めて

いわゆる現場にずっと身をおいてきました。現在は24時間衛星放送の番組や送り出しの業務を担当しています。NHKには、おおくの先輩、後輩が全国で活躍しています。卒業生をまとめる組織はありませんが、「どこそこには誰がいるな」といった連帯感を各人が持っているのは確かです。最近では高卒をあまり採用しなくなり後輩が増えず寂しい気がします。放送界は、ハイビジョンやデジタル技術などで大きく変わろうとしています。そして、CATVやCS放送など放送局にとつては明るい材料ばかりではありませんが、経験を生かして新しい時代に臨みたいと思います。

思い出おすと、アマチュア無線三昧の3年間でしたが、今でも役立つ技術の基礎を港工高で学べたことを感謝しています。

工業高校に対する要求も年々変わってきていると思いますが、今後も広い分野で活躍できる人材を送り出し、発展されることを願います。



「50周年記念誌より」

(平成8年11月発行)

## 機械科卒業生としての思い出

港全40期M 川田 貴之

この度は50周年おめでとうござい  
ます。

私は昭和60年4月から63年3月までの3年間で機械科で学びました。私が機械科に入学した目的は旋盤工場を営んでいる家業について興味があり、また、これからの人生を歩む上で、手に職を持ちたいと考えていたからです。

高校卒業後8年経た今、回想して見ると、製図の授業の時、4人、5人のグループでギアボックスの設計製図をした際に、私がギア比の設定を間違えたことよつて図面として完成できず、グループのみんなに迷惑をかけたことや、引っ張り試験用テストピースを制作した際に寸法測定を間違え、設計寸法より細いテストピースが出来てしまい、その後の試験で有効なデータが得られなかったこと等、うまく行った事よりも失敗した事の方が記憶としてはより鮮明に思い出されます。

また、私は2年生、3年生とルーム

長をやらせて戴いたのですが、とても貴重な良い経験でありました。

現在、私は会社で軸流ファンの設計という業務に携わっておりますが、授業で学んだ機械工作、設計、製図等の知識や、旋盤、フライス盤、マシンニングセンター等の色々な機械で実習した経験が今の私の仕事の中でとても重要な基礎を築いております。

最後になりますが、50周年記念誌発刊に当り、このような席を設けて戴き大変有難うございます。また、50周年を迎えるに当り、今まで御尽力を戴いた先生方を始めとする職員の皆様方に感謝を申し上げますと共にこれからの更なる発展をお祈り致します。



事務局からお知らせ

◎会則改定による賛助金のお願い  
平成28年度の総会案内及び会報は、恩師及び賛助金納入者（1,600部）、秋の臨時号も同様に送付しました。賛助金は491名の方に送金戴き、前年比約6%若干の減少でした。本年の会報発送は、昨年同様恩師及び賛助金納入者等に絞り、財政の効率化を計ります。  
同窓会の収入は会員の賛助金・寄付金のみです。会報継続のため皆様のご理解をお願いします。  
なお、来年は30周年で住所判明者全員への発送を予定します。

- ※郵便局のATM機を使えば、
- ①土曜・日曜・夜間も振込出来ます。
- ②同封の振込用紙をそのまま機械に挿入し、金額のみ押せばOKです。
- ※金額の変更訂正可能です。
- ③窓口より待ち時間が早いです。

☆銀行口座振込みを受け付けます  
銀行 三菱東京UFJ銀行  
支店 433 新橋支店 普通預金  
口座番号 4753403  
口座名義 港工同窓会会長前田武男  
※必ず名前の前に会員NOを記入して下さい。

出来れば振込連絡をお願いします。

◎卒業生への諸証明発行について

都立港工業高等学校の閉校に伴い卒業生への諸証明の発行事務は都立六郷工科高等学校において受け付けています。  
〒144-8506  
大田区東六郷2-18-2  
京浜急行「雑色」下車  
TEL 03-3737-6565  
国道沿い徒歩3分  
ご不明の点につきましては、東京都教育庁高等学校課  
TEL 03-5321-1111  
へお問い合わせ下さい。

◎会員数の把握状況		H29年3月現在	
区分	在籍数	確認数(亡)	
正会員	高輪第一本科	771	51 (99)
	高輪第二本科	768	22 (93)
	麻布第一本科	485	92 (158)
	港・定時制	3,867	565 (107)
	港・全日制	9,774	3,401 (350)
計	15,665	4,131 (807)	
特別会員	旧校長	15	5 (10)
	旧職員	626	243 (149)
	計	641	248 (159)

>同窓会の連絡先変更について<

従来の㈱クリーンジャパンを退職したので、住所変更の連絡、名簿内容の質問、同窓会ニュースへの寄稿、クラス会他近況等々は下記事務局へお願いします。

記

〒278-0051 千葉県野田市七光台 158-5  
港工同窓会 松岡信之(会計理事・港16期A)  
TEL 080-1278-1584 FAX 04-7129-0916  
E-mail: matsuoka@minatokou.net

☆平成28年度の収支状況

前期繰越額	1,774,884.-
収入の部	1,131,155.-
臨時会費	105,000.-
賛助金 491名	982,000.-
寄付その他	44,155.-
支出の部	1,294,667.-
総会費 31名	248,706.-
通信費	549,792.-
広報費	383,708.-
文化祭費	8,617.-
事務その他	103,844.-
次期繰越額	1,611,372.-

◇編集後記◇

港工同窓会再建30周年に向かって動き始めました。

港工同窓会は活動中断があっても、発足してから60年以上経っているわけです。他の同窓会については詳しく調べておりませんが、高校同窓会としては「まれ」なことではないでしょうか。時々新聞などで「何十年ぶりに同窓会」の記事を見かけますが、よく見ると「同窓会請負業者」に丸投げしてやっているようなところもあるようです。

我が港工同窓会は、故高橋光春先生が細々ながらその火をけさないように努力され、そして現前田会長が見事再建をはたし、今日に至っております。勿論、前田会長ひとりならず、加藤先生を始め多くの理事さんの弛まぬ努力・協力があつたことを忘れてはなりません。

ところが、その活動も最近では少々湿りがち。それは、現理事諸氏の高齢化、病がちで、編者自身も「肩が痛い、腰が痛い」と唸っており。新しく理事として活動して頂ける方を募っておりますが、なかなか現れません。このままでは、会長挨拶にあるように、再建30周年を堺に、活動が縮小される怖れもあります。そんなことが無いよう、現理事は精一杯頑張る所存です。